

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	animo筑後前津		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 26日		R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 26日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性向上に向けた継続的な研修体制	法人内事業所と連携した合同研修の実施により、専門的支援の知識・技術の向上を図っている。 これにより、支援の質の底上げと標準化が進んでいる。	研修会開催頻度や定期での実施を検討。
2	保護者との継続的かつ多面的なコミュニケーション体制	送迎時やLINE等を活用し、日々の活動の様子やその日の関わりを具体的に共有している。 また、学校や家庭での様子も踏まえ情報共有を行うことで、生活場面に即した支援の連携につながっている。	日々の活動報告に加え、「どのような場面でどのような関わりをしたか」「家庭や学校で活かせるポイント」を意識した情報共有を行う。
3	社会性や生活スキルの向上を目的とした療育提供体制	個別支援と集団活動を通して、対人関係やルール理解、集団参加等、日常生活や学校生活に必要な力の育成を意識した支援を行っている。 実際の生活場면을想定した活動を取り入れることで、実践的な力の定着を図っている。	活動のねらいを「対人関係」「ルール理解」「自己調整」等の観点で整理し、支援内容を意図的に設計することで、実生活への定着を高める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容の見える化・言語化の不足	日々の関わりや支援の意図が十分に言語化されておらず、学校や家庭でどのように活かせるかという視点での共有に課題がある。	活動の目的や関わり方、児童の変化について、具体的なエピソードを交えて伝えることで、支援の理解と納得感を高める。
2	ペアレントトレーニングの体系的実施の未整備	家庭での関わりに活かせる支援の提供について、内容や頻度が体系化されておらず、継続的な支援としての提供体制が十分ではない。	ペアレントトレーニングの内容を整理し、家庭で実践しやすい形での情報提供や機会の確保を行う。
3	園・学校との連携における継続性・体系性の不足	学校や関係機関との情報共有は実施しているものの、連携頻度や内容、支援への反映方法についての基準が明確化されておらず、支援の一貫性に課題がある。	情報共有の頻度や内容を整理し、学校や関係機関と連動した支援が行えるよう、連携体制の強化を図る。